

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-3	学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 1
-----------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	143	8 - 9	たなびく雲に覆われています。そこに秋の風がふき、時おり現れる雲と雲との切れ間から、月の光がずっと漏れてきます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「秋風によってたなびいている雲」という口語訳に照らして理解し難い説明である。)	3-(3)
2	143	12	一点の曇りもない満月ではありません。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ありません」が何を否定しているのか理解し難い。)	3-(3)
3	146	1 - 3	これから学習する…味わってみよう。	表記が不統一である。 (前のページと照らして、文体が不統一である。)	3-(4)
4	178	6	・一班は、○○という結論になりました。根拠は○○です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (結論と根拠が同じ記号で示されている。)	3-(3)
5	232	図	アンケートの例 ウ わからない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (アンケートの質問に照らして理解し難い選択肢である。)	3-(3)
6	253	表	(備考)連用形が「一ん」「一い」になる場合、「運んだ」「運んで」「泳いだ」「泳いで」のように「た・て」がにごる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イ音便の後の「た・て」が全て濁るかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
7	254	左表	(備考)連体形「一です」は、特別な場合に用いられる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「特別な場合」がどのような場合が明示しておらず、理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-47		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	87	写真	『カムイ・ユーカラ』の図版 Heibonsha Library	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2- (7)	
2	87	写真	『獣の奏者』の図版 AOITORI BUNKO	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2- (7)	
3	103	写真	『ユタとふしぎな仲間たち』の図版 AOITORI BUNKO	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2- (7)	
4	175	脚注	事実を表す文末表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (「だという」「いるそうだ」という伝聞の文末表現が事実を表す文末表現の一種であることの説明がなく、理解し難い。)	3- (3)	
5	232	16 - 17	実行に移された。	生徒にとって理解し難い表現である。 (主語が明示されておらず理解し難い。)	3- (3)	
6	245	脚注	イ音便……「い」に変化する。(「く・ぐ」などで終わる動詞)	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (『「く・ぐ」など』という表現は「く・ぐ」で終わる五段動詞が全てイ音便になると誤解するおそれがある。)	3- (3)	
7	248	表	連用形が「一ん」「一い」になる場合、「運んだ」「運んで」「泳いだ」「泳いで」のように「た・て」が濁る。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イ音便の後の「た・て」が全て濁ると誤解するおそれがある。)	3- (3)	
8	249	表	連体形「一です」は、特別な場合に用いられる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「特別な場合」がどのような場合か明示しておらず、理解し難い。)	3- (3)	
9	291	上9	東中学校	誤記である。 (「東」)	3- (2)	
10	311	表	「詰」の初出ページ数「26」	誤記である。	3- (2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-96		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	33	脚注	朋 「友」と同じ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何が同じであるのか理解し難い。)	3-(3)
2	66	6	釈	新出の「釈」の提出の方法が不適切である。 (本文脚注に示されていない。)	固有 2-(5)
3	142	脚注	藤原敏行?一九〇一	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (藤原敏行の没年が確定していると誤解するおそれがある。)	3-(3)
4	145	下18 -20	掛詞…一つの語に二つの同音の語の意味を重ねる技法をいう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (掛詞には二つ以上の意味を与える例もある。)	3-(3)
5	175	16	(「こころの処方箋」)	生徒が誤解するおそれのある表示である。 (引用に際し出典を示さなくてもよいのかのように誤解する。)	3-(3)
6	193	写真	『トットちゃんとトットちゃんたち』 の図版 AOITORI BUNKO	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
7	225	表	連用形が「一ん」「一い」になる場合、「運んだ」「運んで」「泳いだ」「泳いで」のように「た・て」が濁る。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イ音便の後の「た・て」が全て濁ると誤解するおそれがある。)	3-(3)
8	226	表	連体形「一です」は、特別な場合に用いられる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「特別な場合」がどのような場合か明示しておらず、理解し難い。)	3-(3)
9	265	表	翻訳語が誕生する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「翻訳語が誕生する」が何を意味しているのか理解し難い。)	3-(3)
10	275	下6	搾	不正確である。 (国字ではない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 26-10		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	6	2段6行	蓬萊の玉の枝 308ページ教材名 蓬萊の玉の枝と偽りの苦心談	表記が不統一である。	3- (4)	
2	7	表	(「教科書の構成」中「三世界をひらく」の「単元の内容」) 現在や過去はもちろん、物語や映像など、無限の広がりのある世界を豊かに解釈し、生かす。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「現在や過去はもちろん」がどこに係るか不明であり、理解し難い。)	3- (3)	
3	7	表	(「教科書の構成」中「六説明を比べる」の「単元の内容」) 同じ、事柄の説明であっても、比べて読むとそれぞれの特徴や意味がよりよく理解できる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「同じ、事柄の説明」が何を意味する表現であるか不明であり、理解し難い。)	3- (3)	
4	7	表	(「教科書の構成」中「七発想を広げる」の「単元の内容」) 言葉を題材とした文章や、図表などの資料を使うことで、自分の発想を広げる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「言葉を題材とした文章」を「使う」とは何を意味するのか不明であり、理解し難い。)	3- (3)	
5	8	表	(「書くこと」の「意見文を読み合う」の「学習内容の重点」) 《交流》根拠の明確さ	生徒にとって理解し難い表現である。 (該当する言語活動教材の「交流」において「根拠の明確さ」に関する言及はなく、理解し難い。)	3- (3)	
6	9	表	(「文法」中「文の成分」に示された教材内容) 指示語や接続語	生徒にとって理解し難い表現である。 (該当する教材において「指示語」は扱われておらず、理解し難い。)	3- (3)	
7	12	2段9行	付表の語 決まった読みをもつ語。 (48ページ下段1-2行「次の言葉は、『付表の語』と呼ばれる、決まった読みをもつ語である。」、及び271ページ下囲み4行「『付表の語』とは、決	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「付表の語」という特定の語があるかのように誤解するおそれがある。)	3- (3)	
			まった読みをもつ語です。」も同)			
8	18	図	図に示された①及び②の位置	生徒にとって理解し難い示し方である。 (直前に記された①及び②に関する説明に照らし、図に示された①及び②の配置は理解し難い。)	3- (3)	
9	26	下段4-5行	「自信にあふれている」	不正確である。 (引用が不正確である。)	3- (1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 26-10		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
10	40	下段1 2-14行	「……のである。」という文末表現を用いて、説明を強く、断定的に述べている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (該当する文末表現が教材本文中になく、理解し難い。)	3-(3)
11	41	上段	(「読んでみよう」中「考えるヒト」の紹介文) 脳のはたらきによって生きている私たちにとって、身近なはずの「脳」をわかりやすく解説する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「身近なはず」でありながら実際はどうであるのかが記されておらず、理解し難い。)	3-(3)
12	44	16	(スピーチの例) ④感謝したいと思います。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「活動のポイント」④「活動をとおして気づいたことなども伝えている。」の説明に照らして理解し難い。)	3-(3)
13	45	12 - 13	よく聞くと、最後の音をはっきり発音しないね。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (英語では「t」を発音しないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
14	46	下段7 行	「垂(たれ)」の直下にある記号	誤記である。	3-(2)
15	57		(写真に付されたキャプション中の表現) アウシュヴィッツ 58ページ下段19行	表記が不統一である。	3-(4)
			アウシュビッツ		
16	79	上段	(「読んでみよう」中「わたしを束ねないで」の紹介文) 垣間見ることできる	脱字である。	3-(2)
17	96	上段1 5行	「第一、第二日曜」 (330ページ上段7行「第一、第二日曜」も同)	不正確である。 (引用が不正確である。)	3-(1)
18	97	下段	(「読んでみよう」中「12の星の物語」の紹介文) 十二星座にまつわる物語が、それぞれ十二編描かれている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一つの星座ごとに十二編の物語があるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 26-10		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
19	109	下段	(「読んでみよう」中「里見八犬伝 上・下」の著者名) しかたかしん	不正確である。 (著者名が不正確である。)	3-(1)
20	134		(「本の世界へ 名作を読む」) 「遠藤周作」の「ほかに『沈黙』」、 「志賀直哉」の「ほかに『和解』『城の崎にて』『真鶴』」、 「太宰治」の「ほかに『正義と微笑』『パンドラの	生徒にとって理解し難い示し方である。 (一部の作家にのみ「ほかに」を付した意図が理解し難い。)	3-(3)
			匣』『駆込み訴へ』」、 「堀辰雄」の「ほかに『菜穂子』」		
21	138	6 - 7	光の一種である「マイクロ波」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (光とマイクロ波の関係について誤解するおそれがある。)	3-(3)
22	159	下段	(「活動のポイント」の「③④について」及び「⑤について」) 言葉を使って聞く	生徒にとって理解し難い指示である。 (「言葉を使って聞く」がいかなる学習活動を指示しているか理解し難い。)	3-(3)
23	175	上段1 7-下段 1行	取り上げられた事例と別の箇所ですと められたことがどのように説明されて いるか	生徒にとって理解し難い表現である。 (該当する教材の本文中には「取り上げられた事例と別の箇所ですとめられたこと」に関する説明はなく、理解し難い。)	3-(3)
24	203	下段9 -10行	この作品は「私」によってまとめ直され、 語られた「僕」(＝客)の少年時代の 内容で話が終わっている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「まとめ直され」る前の段階に関する記述がなく、理解し難い。)	3-(3)
25	204	下段9 -13行	「僕」が語って終わるのでなく、「私」 が「語り手」として語り直し、その 話を「僕」(＝客)が聞くことによっ て、初めて「僕」はいまだに整理でき ていなかった、自分の少年時代の思い	生徒にとって理解し難い表現である。 (「『僕』(＝客)が聞く」という設定を読み取ることは困難であり、理解し難い。)	3-(3)
			出と向き合うことができるのである。		
26	212	3段	(「こぐまちゃんとどうぶつえん」の 著者名) 森比左志	生徒にとって理解し難い表現である。 (図版の点字本に記された著者名と一致しておらず理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 26-10		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
27	212	5段	(書籍名) めくってびっくり短歌絵本	生徒にとって理解し難い表現である。 (図版に示された書籍名と一致しておらず、理解し難い。)	3-(3)	
28	218	下段2行	表意文字は言葉を表すことから、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての表意文字が言葉を表すかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
29	219	上段8行	このような書き表し方を万葉仮名といいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「万葉仮名」が書き表すための一方法であるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
30	219	側注	(写真のキャプション) オノレニオモムケバスナハチコレヲユルス	生徒にとって理解し難い表現である。 (キャプションの表記に該当する片仮名表記が写真中には見られず、理解し難い。)	3-(3)	
31	228 - 229	上段1 7-上段 2行	もう一つは、「どのようにするのか」や、「何を」などを詳しく示すもので、……連用修飾語といいます。前の文の「たくさん」は、連用修飾語です。	生徒にとって理解し難い説明である。 (「餌を」に関する言及がない。)	3-(3)	
32	240		日本語独特のコミュニケーションを読み解こう	生徒が誤解するおそれのある教材名である。 (例示されているような表現が他の言語には存在しないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
33	334	下段2行	「クジャクヤママユガ」 (同ページ下段13行も同)	不正確である。 (引用として示されているが、本文中に該当する表現はない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 1 枚目

受理番号 26-50		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	9	表	(「文法」中「活用のない自立語」に示された教材内容) 文の成分の順序・文の構成	生徒にとって理解し難い表現である。 (該当する教材に「文の成分の順序」及び「文の構成」の項目はなく、理解し難い。)	3-(3)	
2	12	2段9行	付表の語 決まった読みをもつ語。 (101ページ下段1-2行「次の言葉は、『付表の語』と呼ばれる、特別な読み方をするものです。」、及び299ページ下囲み4行「『付表の語』とは、決	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「付表の語」という特定の語があるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
			まった読みをもつ語です。」も同)			
3	34	下図	(「2 情報の吟味」中の活動内容) 提案の根拠となる情報を集める。	生徒にとって理解し難い示し方である。 (前項に「1 情報の収集」があり、情報を収集する過程と吟味する過程の区別が不明確である。)	3-(3)	
4	35	下段1行	「情報の再構成」について	生徒にとって理解し難い表現である。 (34ページ「情報の再編成」との関連性が理解し難い。)	3-(3)	
5	41	右図	「上貼紙」及び「玉皮」の範囲の示し方 脚注「玉皮」の説明	相互に矛盾している。	3-(1)	
6	43	9	力加減	生徒にとって理解し難い表現である。 (何に関する力加減であるのか理解し難い。)	3-(3)	
7	46	下段17行	「……芸術となるのだ。」(P44L9)	不正確である。 (該当箇所の行の示し方が不正確である。)	3-(1)	
8	46	上段13-15行	「整った形と明瞭な色彩が変化する」(P40L10～P41L1)とあるが、このことに関する言葉は本文に何度か出てきている。このような言葉の関係を「類比の関係」という。	生徒にとって理解し難い説明である。 (「類比の関係」についての明確な説明がなく、理解し難い。)	3-(3)	
			(47ページ上段3-4行「この文章では、説明的文章を読むときの大切な着眼点の一つである類比の関係を学習した。」も同)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 2 枚目

受理番号 26-50		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
9	46	上段1 6-下段 1行	第二、第三大段落（P41L3～P44L9）の中で、それぞれについて考えよう。	生徒にとって理解し難い指示である。 （第二大段落及び第三大段落がそれぞれ本文中のどの範囲を指しているか理解し難い。）	3- (3)
10	46	上段1 3行	「整った形と明瞭な色彩が変化する」	生徒が誤解するおそれのある引用の仕方である。 （「形」についても「変化する」で受けるかのように誤解するおそれがある。）	3- (3)
11	47	上段5 -12行	説明的文章では、読者を終末部分まで滞ることなく導く工夫として、似ている表現が繰り返されることが多い。例えば、この文章では、花火の色彩の変化について……などと、表現を変えて	生徒にとって理解し難い表現である。 （「色彩の変化」という同一の話題について説明の仕方を変えながら叙述を繰り返すことを「似ている表現が繰り返される」と表現するのは理解し難い。）	3- (3)
			何度も出てきている。筆者は、日本の花火の特徴の一つとして「色彩の変化」を取り上げているので、この点に関する記述に力を入れていることがわかる。		
12	62	上段7 行	（「インターネット利用上の注意点」） 個人情報を出さない	生徒にとって理解し難い説明である。 （必要な範囲の個人情報を示さざるを得ない事例も多く、理解し難い。）	3- (3)
13	62	下囲み	情報探索チェックシート	生徒にとって理解し難い説明である。 （見出しの「情報探索」のチェックに合致しない項目が含まれており、理解し難い。）	3- (3)
14	75	上段1 1-13行	AからDの絵コンテのうち、あなたがいちばん気に入ったものを選び、視聴者としてか、このアニメーションの作り手（監督）としてか、どちらの立場を選ぶか、その理由を二百字程度で書	生徒にとって理解し難い指示である。 （何に関して理由を書くことを求めている指示であるのか理解し難い。）	3- (3)
			こう。		
15	75	下段1 1-12行	必ず「末っ子が活躍する」昔話のパターンを読者に思い出させ、引き込んでいくのです。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （昔話において必ず「末っ子」が活躍するかのように誤解するおそれがある。）	3- (3)
16	76	上段5 -12行	子どもの頃に茂平さんから聞いただけにもかかわらず、「私」が語りたいと思った話を、私たちは読んでいくことになります。読者は、語る価値のある話の聞き手として観客席に座っていれ	生徒にとって理解し難い説明である。 （「一方」を挟む前後の事例の比較が不明確で理解し難い。）	3- (3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 3 枚目

受理番号 26-50		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
			ばいいのです。一方、一年生で学んだ『オツベルと象』は、「……ある牛飼いが物語る。」と始まります。語り手の「牛飼い」が「物語る」に値する話を読者は読んでいくことになるのです		
			。		
17	76	上段1 3-18行	また、『夏の葬列』では「小学生の頃の自分を、急になまなましく彼は思い出した。あれは、戦争の末期だった。」(P86L4)とあり、「彼」の思い出した「過去の自分」のことまでも知っ	生徒にとって理解し難い説明である。 (「読者」が「知っていたかのように思われ」とはということか理解し難い。)	3-(3)
			ている語り手によって、読者も「あれは戦争末期だった」と知っていたかのように思われます。		
18	76	下段1 -6行	このように文学を読む醍醐味の一つは、作り手によってかけられた言葉により、読者が傍観者として作品世界の外に置かれたり、話の中の「私」自身とされたり、さらには語り手の共感者	生徒にとって理解し難い説明である。 (直前までの内容を受けた説明として理解し難い。)	3-(3)
			として位置づけられたりしながらも、それにそって作品を読み進める楽しみがあるということです。		
19	78	下段2 -4行	漢字の成り立ちには、ほかに、漢字には、ある漢字の意味が転じて他の意味ができた「転注」という用法があります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「漢字の成り立ち」の説明として理解し難い。)	3-(3)
20	95	上段7 行	『夏の葬列』を五つの場面に分け、	生徒にとって理解し難い設問である。 (すでに五つの場面に分かれており、「分け」とするのは理解し難い。)	3-(3)
21	95	下段1 5-16行	指示語の「こ」と「あ」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「こ」、「あ」という指示語はなく、理解し難い。)	3-(3)
22	102	上段3 -6行	「機械」と「機会」は、どちらも「キカイ」と読み、「機」を使った熟語です。ところが、二つの熟語に使われている「機」という漢字は、それぞれ意味が全く異なります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (二つの熟語に使われている「機」の意味について、共通するところが全くないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 4 枚目

受理番号 26-50		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
23	107	図	(「平家物語合戦地図」中の注記) 年月は旧暦	生徒にとって理解し難い表現である。 (年は西暦で記されており、理解し難い。)	3-(3)
24	108	脚注	(「源義経」の注) のちに頼朝に討たれる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (義経が頼朝に討たれて死亡したかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
25	122	2	兼好法師は、代々朝廷の神職の家にありましたが、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「代々朝廷の神職の家にありました」という表現は理解し難い。)	3-(3)
26	127	4 - 5	なんとすばらしいではないか	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「君子」が「すばらしい」の意を表す表現であるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
27	127	1段写真	(湯島聖堂の写真に付されたキャプション) 江戸時代、孔子の教えを学ぶ昌平坂学問所に付設された湯島聖堂。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (昌平坂学問所が設立された後に湯島聖堂が付設されたかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
28	129	上段10-12行	孔子は自分の言葉が相手にしっかりと伝わるように、表現のうえでどのような工夫をしているか、各句の文字数や言葉の並べ方に気をつけて考えてみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (「各句の文字数や言葉の並べ方に気をつけて」とはどのようなことか理解し難い。)	3-(3)
29	129	下段	(「読んでみよう」中「論語物語」の紹介文) 『論語』の中の言葉を物語にして、孔子と弟子たちとの交流を、声に出して読むことで感じ取ることができる。	生徒にとって理解し難い説明である。 (「物語にして」を受ける表現がなく、「論語物語」の紹介文として理解し難い。)	3-(3)
30	150		(「本の世界へ 名作を読む」) 「芥川龍之介」の「ほかに『羅生門』『鼻』『蜜柑』『トロッコ』」、 「宮沢賢治」の「ほかに『銀河鉄道の夜』」、	生徒にとって理解し難い示し方である。 (一部の作家にのみ「ほかに」を付した意図が理解し難い。)	3-(3)
			「武者小路実篤」の「ほかに『真理先生』」		
31	170	上段	(「読んでみよう」中の書籍名) 生物と無生物のあいだに	誤記である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 5 枚目

受理番号 26-50		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
32	185	上段2-4行	文章を読んで自分の考えをもつためには、言葉のきまり、全体と部分との関係、例示の効果などをとおして読み、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「とおして読み」とはどのようなことか理解し難い。)	3-(3)
33	192	上段3行	(1) 頭括型 主張→根拠	生徒が誤解するおそれのある例示である。 (他の型の例示に照らして頭括型に結論がないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
34	193		(表現の形式「④主張」) したがって(……によって)、……と考えました。 (意見文の例④)	相互に矛盾している。	3-(1)
			したがって、手紙は手書きで書くほうがよいというのが私の結論です。		
35	223	上段	(「読んでみよう」中の書籍名) クリスマスキャロル	脱字である。 (図版に示された書籍名に照らして脱字である。)	3-(2)
36	243-244	下段16-上段1行	「高い」には、「高さ」と「値段」と二つの観点があります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「高さ」がどのような観点に基づく高さを意味しているのか明示されておらず、理解し難い。)	3-(3)
37	245	上段11-15行	日本語には、発音が同じで意味の異なる同音語といわれる語がたくさんあります。「漢字の広場4」(P202)で学んだように、漢字は同じ音が多いので、熟語になるとたくさんの同音異義語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「同音語」と「同音異義語」が別のものであるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
			ができます。		
38	251	下段17行	(「連体修飾語」中「『の』を伴わない。」の例文) 非常に努力家だ。	生徒が誤解するおそれのある例示である。 (「非常に」は連体修飾語でないことと解することもでき、修飾語について誤解するおそれがある。)	3-(3)
39	254	吹き出し2行	同じ意味でも、品詞の形が違うことがあるんじゃない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「品詞の形が違う」とはどういうことか理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 6 枚目

受理番号 26-50		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
40	261	左表	(「静かだ」の活用表の連用形) ーて	誤記である。	3-(2)
41	323	下段側注	(「日光の権現、宇都宮、那須の湯泉大明神」の注) いずれも与一の出身。	誤りである。 (「日光の権現」、「宇都宮」、「那須の湯泉大明神」を与一の「出身」とするのは誤りである。)	3-(1)
42	346	上段2-5行	『走れメロス』では、話の展開の中で、メロス、セリヌンティウス、そして王の三人の心理や気持ちが、それぞれ語り手による三人称で語られたり、登場人物になりかわる一人称で語られた	生徒にとって理解し難い説明である。 (教材『走れメロス』の本文中に「セリヌンティウス」に関して「登場人物になりかわる一人称」で語られている箇所はなく、理解し難い。)	3-(3)
			ります。		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 26-75		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	8	表	(「読むこと」の「立ってくる春」の「言語活動」) 感想を交流する	生徒にとって理解し難い提示である。 (「立ってくる春」には感想を交流する活動が設定されておらず、理解し難い。)	3-(3)
2	8	表	(「読むこと」の「故郷」の「ここが大事」) (語り)を読む 178ページ「ここが大事」	表記が不統一である。	3-(4)
			語り手そのものについて考える		
3	12	2段9行	付表の語 決まった読みをもつ語。 (289ページ下囲み4行「『付表の語』とは、決まった読みをもつ語です。」も同)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「付表の語」という特定の語があるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
4	25	脚注	(「ニュアンス」の注記) 言葉以外のところに表された意味や相手の意図。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「相手」がどのような立場の人物を指しているのか理解し難い。)	3-(3)
5	37	上段1 3-20行	例えば、「全てのデータがなくなってしまったら、『私』という存在そのものも消えてしまう」(P31L5~6)ののだろうか。「女性」のデータが二重になっても、「女性」の存在が二重になら	生徒にとって理解し難い叙述である。 (前後の段落との内容的な関連が理解し難い。)	3-(3)
			なかったように、データと存在とは同じものではない。また、「女性」や「私」が二重になった自分の片方を消すことを要求したように、自分とは二重に存在することが許されているもので		
			もない。		
6	38	上段9行	両方の型を使うと、結論が強調される「双括型」となる。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「双括型」が文章構成の型の一つではなく「頭括型」と「尾括型」を両方用いた結果構成される文章の書き方であるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
7	56	上段9 -10行	「常用漢字一覧表」の「付表」には、一一〇語あげられています。	生徒にとって理解し難い説明である。 (「常用漢字一覧表」とは何か不明であり、理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 26-75		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
8	71	上段	(「読んでみよう」中「きけ わだつみのこえ」の紹介文) 学徒出陣によって命を落とした学生たちが遺した手記を集めたもの。	不正確である。 (図版に示されている当該図書は学徒出陣によって命を落とした学生たちの手記のみで構成されているわけではない。)	3-(1)	
9	96	上段	(「読んでみよう」中「『里』という思想」の図版) 新潮選書	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
10	96	下段5-6行	どのように意見を述べればよいのであろうか。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「自分の意見を形成する」という表題に照らして理解し難い。)	3-(3)	
11	97	5段	(「ジャッキー・ロビンソン」の紹介文) 黒人差別の激しかった時代、ブルックリン・ドジャースに黒人の入団第一号となり大活躍。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ブルックリン・ドジャースに黒人の入団第一号となり大活躍」という表現は理解し難い。)	3-(3)	
12	97	5段	(「天游」の紹介文) 江戸時代後期、大阪で蘭方医として塾を開く。物理学、数学の分野を越えて業績を残し、緒方洪庵を育てたことでも評価されている。	生徒にとって理解し難い説明である。 (「誰が」が示されておらず、理解し難い。)	3-(3)	
13	98	下囲み	(「目標と振り返り」の箇条) 図表や条件などの課題を把握し、意見文を書く。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「図表や条件などの課題を把握」とはいかなることを指すのか理解し難い。)	3-(3)	
14	107		(「おくのほそ道旅程図」) 六月十九日 酒田	不正確である。 (「六月十九日」とするのは不正確である。)	3-(1)	
15	112	2	尾花沢 (をばなざは)	誤記である。	3-(2)	
16	148	2-5	この留学経験は、国に命じられた目的を達成することのほか、帰国後での軍医としての仕事や、その後描かれた作品にも色濃く反映されており、森鷗外の原型を作ったといってもよい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「この留学経験は」が「国に命じられた目的を達成することのほか」で受けられておらず、理解し難い。)	3-(3)	
17	148		(「留学生として」に関する記述) 留学後に興味をもったビールの利尿作用やカステラの分析など、さまざまな研究に取り組んでいた。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「留学後」がいつの時点を指すのか分かりにくく、理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 26-75		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
18	149		(「作家、父親として」に関する記述) 『最後の一句』や『高瀬舟』の歴史小説	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (挙げられた作品をもとに創作した歴史小説があるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
19	150		(「本の世界へ 名作を読む」) 「有島武郎」の「ほかに『一房の葡萄』」、 「夏目漱石」の「ほかに『文鳥』『永日小品』」、 「三島由紀夫」の「ほかに『美しい星』」、 「森鷗外」	生徒にとって理解し難い示し方である。 (一部の作家にのみ「ほかに」を付した意図が理解し難い。)	3-(3)
			の「ほかに『名人』」		
20	177	上段7行	場面を五つに分け、ふさわしい小見出しをつけよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「場面を五つに分け」とはいかなることか理解し難い。)	3-(3)
21	178	上段12-13行	読者は、語り手である「私」も気づいていないことを掘り起こすことが求められているのである。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「語り手である『私』も気づいていないことを掘り起こす」とはいかなることか理解し難い。)	3-(3)
22	178	下段7-8行	その深さを読む必要がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「深さ」が何を示しているのか理解し難い。)	3-(3)
23	178	下段18-19行	(「『私』以外の登場人物を『人物ファイル』にまとめよう」中「『人物ファイル』にまとめる際のポイント」) ⑤「私」から見た特徴や性格 ⑥読者から見た特徴や性格	生徒にとって理解し難い示し方である。 (⑤と⑥の観点をそれぞれどのように設定して取り組むのか理解し難い。)	3-(3)
24	179	上段	(「読んでみよう」中「そして誰もいなくなった」の紹介文) 童謡「マザーグース」の歌詞に沿う形で登場人物が次々に殺されてゆく……。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (童謡集「マザーグース」と特定の童謡「マザーグース」を混同するおそれがある。)	3-(3)
25	221	上段	(「読んでみよう」中「わかりやすいはわかりにくい?」の紹介文) 現代人が向き合う課題に、常識とは異なる角度から読者とともに考える。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「課題に、…考える」とはいかなることか理解し難い。)	3-(3)
26	230	上段12-13行	漢字と仮名文字を用いる日本語の書き表し方は、語彙の違いが見分けやすいものです。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文脈に照らして「語彙の違い」を見分けるとはいかなることか理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

4 枚中 4 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-19		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	101	11	古くから鑑賞されてきました。	誤りである。 (文脈に照らして「鑑賞」は誤り。)	3-(1)
2	105	脚注	①ありけり 古典語では「あり(ある)」一つだった。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (古典語における存在を示す動詞が、「あり」のみであるかのように誤解する。)	3-(3)
3	106	3 - 4	気分が悪く苦しいことも吹き飛んでしまふのだった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (主語が明示されておらず、理解し難い。)	3-(3)
4	107	3 - 4	同様に、あなたを手に入れねばここから帰りません。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (当該の和歌からはこのような意味は読み取れないため、誤解する。)	3-(3)
5	113	キャプション	(江戸時代に発行されたもの)	不正確である。 (江戸時代の版本の説明として、正確性を欠く。)	3-(1)
6	115	上8- 9	古典の仮名遣いは、主に平安時代中頃の発音に合わせた書き表し方をしています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「平安時代中頃の発音に合わせた書き表し方をしています」とはどのようなことか、理解し難い。)	3-(3)
7	116	囲み	●漢文特有のリズムで音読する。 (119ページ「目標」、同ページ1行目も同)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「漢文特有のリズムで音読する」とはどのようなことか、理解し難い。)	3-(3)
8	120	9	②訓読文 楚人有(下) 鬻(二) 盾与矛(一) 者(上)。	不正確である。 (訓点の付け方が正確ではない。)	3-(1)
9	143	下囲み	今世紀になって電子書籍という、私を全く必要としない本が登場してきたからです。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (20世紀に電子媒体の書籍がなかったかのように誤解する。)	3-(3)
10	165	下7- 13	「新しい」「楽しい」「鮮やかな」「好きな」は、「服が新しい。」「ダンスが楽しい。」「色が鮮やかだ。」「犬が好きだ。」のように、「ものごとの性質や様子」「人の感情や感覚」を	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (前段の動詞の説明に照らして、形容詞と形容動詞が文の述語にならないかのように誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 26-19		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
			表します。このうち、……のようなことばを形容動詞といいます。		
11	190	下3	例 音しかもたない漢字	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (例示された漢字が、音読みしかないかのように誤解する。)	3-(3)
12	191	囲み	1 意味に気をつけて、一線部の漢字を読もう。 ③ア 「天然」記念物を守る。 イ 「自然」を保護する。 (かぎ括弧が一線部の漢字)	生徒にとって理解し難い設問である。 (当該漢字に特別な意味の違いはなく、理解し難い。)	3-(3)
13	266	囲み	囲み「対象者の選び方」全体	生徒にとって理解し難い説明である。 (「対象者の選び方」という項目と対応していない記述があり、理解し難い。)	3-(3)
14	267		②アンケートを実施して、まとめる アンケート結果は、回答の分布を百分率(%)で分析し	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (分析は全て百分率で行うかのように誤解する。)	3-(3)
15	278	上下段の見出し	「歌」 「物語」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「歌」の系統に『おくのほそ道』が、「物語」の系統に『枕草子』『徒然草』などが区分されており、文学のジャンル分けについて誤解する。)	3-(3)
16	281	上段	サラダ記念日 一九八九	不正確である。 (発行年は一九八九年ではない。)	3-(1)
17	283	中18-19	起承転結 漢詩(特に絶句)の句の並べ方。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「起承転結」は句の並べ方ではないため、理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-51		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	29	6	③おばあさんをお見舞いに行った場面	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文の内容に照らして、理解し難い。)	3-(3)
2	46	図表3 段目真 ん中	「二十四節季」の「季」	誤記である。	3-(2)
3	100	脚注	①ちご ここは「乳児」の意で、幼児をいう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「「乳児」の意で、幼児をいう」とはどのようなことか、理解し難い。)	3-(3)
4	104	下1	徒然草 ……随筆集。	不正確である。 (『徒然草』は「随筆集」ではない。)	3-(1)
5	118	囲み	「耳なし芳一・雪女」の図版 「AOITORI BUNKO」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
6	120	下1- 2	「『徒然草』を書いた兼好法師も、当時の四大歌人と呼ばれた、優れた歌詠みでした。」の「当時の四大歌人と呼ばれた」	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (当時、兼好法師が「四大歌人」と呼ばれていたかのように誤解する。)	3-(3)
7	121	上1	『平家物語』には合計で百首の歌が登場します。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (写本によって異同があるにもかかわらず、『平家物語』には百首の歌が登場するかのように誤解する。)	3-(3)
8	142	下1- 2	●西日本では広範囲な地域で、「ええ天気だ」を「ええ天気じゃ」「いい天気や」と言う。	生徒にとって理解し難い表現である。 (方言の説明として理解し難い。)	3-(3)
9	179	中1- 3	「私は、その男の写真を三葉、見たことがある。」という書き出しで始まるある男の人生を描く。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文の係り受けが不明確で、理解し難い。)	3-(3)
10	192	キャプション	地上10メートルの位置に多くの力でつり上げて設置された。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「多くの力でつり上げて設置された」とはどのようなことか、理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 26-51		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
11	197	囲み・下	「季節の挨拶状」 7日を過ぎる場合は「寒中見舞い」として出す。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「寒中見舞い」について誤解する。）	3- (3)	
12	226	3 - 4	また、もともとは形容詞の「ない」が、前のことばの意味を打ち消すだけの「はたらきになったものを補助形容詞という。」	生徒が誤解するおそれのある説明である。 （補助形容詞には、「ない」しかないかのように誤解する。）	3- (3)	
13	237	動詞活用表備考欄	五段活用 力行 ◎語末が「力行」・「ガ行」（「泳ぐ」など）の動詞は、「テ（デ）・タ（ダ）」に続く連用形の活用語尾が「い」になる。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 （「力行」・「ガ行」の動詞が、全てイ音便になるわけではない。）	3- (3)	
14	271	囲み	囲み「対象者の選び方」全体	生徒にとって理解し難い説明である。 （「対象者の選び方」という項目と対応していない記述があり、理解し難い。）	3- (3)	
15	271		②実施して、まとめる アンケート結果は、回答の分布を百分率（％）で分析し	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （分析は全て百分率で行うかのように誤解する。）	3- (3)	
16	274	図	「複合グラフ」	生徒にとって理解し難い図である。 （左右の軸が何を示しているのか不明確である。）	3- (3)	
17	274	図	「レーダーチャート」	生徒にとって理解し難い図である。 （レーダーチャートの単位が示されていない。）	3- (3)	
18	282	上下段の見出し	「歌」 「物語」	生徒が誤解するおそれのある図表である。 （「歌」の系統に『おくのほそ道』が、「物語」の系統に『枕草子』『徒然草』などが区分されており、文学のジャンル分けについて誤解する。）	3- (3)	
19	285	上段	サラダ記念日 一九八九	不正確である。 （発行年は一九八九年ではない。）	3- (1)	
20	287	中18-19	起承転結 漢詩（特に絶句）の並べ方。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「起承転結」は句の並べ方ではないため、理解し難い。）	3- (3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-71		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	26	7	1 日本と西洋の文化における、「間」のはたらきについて、次の観点から比較しよう。 ③心理的な間	生徒にとって理解し難い設問である。 (本文の内容に照らして、比較するのは困難である。)	3-(3)
2	27	図表の下段	対比③	生徒にとって理解し難い図表である。 (対比③の点線囲みの意図が理解し難い。)	3-(3)
3	61	下3-5	A 「歳時記」などを使って、一月～十二月までのそれぞれの月に合う季語を調べよう。	生徒にとって理解し難い指示である。 (「月に合う季語を調べる」とはどのような学習活動を想定しているのか、理解し難い。)	3-(3)
4	95	見出し	読みのエンジン、速読のツール	生徒にとって理解し難い表現である。 (「小見出し」を「読みのエンジン、速読のツール」とするのは、理解し難い。)	3-(3)
5	113	下12	紀貫之 [?-945]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (紀貫之の没年が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)
6	114	囲み下段7-8	●掛詞 このように二つの意味が掛けられていることばを「掛詞」といいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (掛詞には、二つ以上の意味を与える例もある。)	3-(3)
7	117	下2-8	現在では、かつての歌に相当する日常的なコミュニケーションツールに、メール(電子メール)があります。日常のできごとを伝え合ったり、恋の駆け引きをしたりと、メールは、現代人に	生徒にとって理解し難い表現である。 (和歌とメールとの比較の観点が不明確で、理解し難い。)	3-(3)
			とってなくてはならない重要なコミュニケーションツールとなっています。 このように古代から続く歌のやりとりの伝統は、形を変えて現代にも受け継がれています。		
8	121	3-4	「尾花沢(をばなざは)」	誤記である。	3-(2)
9	126	下5	B 「古きを温めて新しきを知る。」の「古」	誤記である。 (「古」ではない。)	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 26-71		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
10	128	上10-12	「肩を並べる」全体で、「競争相手と対等の位置に立つ」ことを意味します。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「肩を並べる」は、必ずしも「競争相手」とは限らない。)	3-(3)	
11	144-145	図表	「座標軸(四分割法)」 「ベン図」 「表」	生徒にとって理解し難い図表である。 (分析の根拠となる基準が示されておらず、理解し難い。)	3-(3)	
12	169	8	2 次の観点から「私」の感じ方がどのように変化しているか、比較しよう。 ④今の宏児・水生と将来の宏児・水生	生徒にとって理解し難い設問である。 (感じ方の変化については書かれておらず、理解し難い。)	3-(3)	
13	217	動詞活用表備考欄	五段活用 力行 ◎語末が「力行」・「ガ行」(「泳ぐ」など)の動詞は、「テ(デ)・タ(ダ)」に続く連用形の活用語尾が「い」になる。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「力行」・「ガ行」の動詞が、全てイ音便になるわけではない。)	3-(3)	
14	248	18	「本小屋(もとごや)」	誤記である。 (初出の位置に読み方が示されていない。)	3-(2)	
15	261	囲み	囲み「対象者の選び方」全体	生徒にとって理解し難い説明である。 (「対象者の選び方」という項目と対応していない記述があり、理解し難い。)	3-(3)	
16	261		②実施して、まとめる アンケート結果は、回答の分布を百分率(%)で分析し	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (分析は全て百分率で行うかのように誤解する。)	3-(3)	
17	270	上下段の見出し	「歌」 「物語」	生徒が誤解するおそれのある図表である。 (「歌」の系統に『おくのほそ道』が、「物語」の系統に『枕草子』『徒然草』などが区分されており、文学のジャンル分けについて誤解する。)	3-(3)	
18	273	上段	サラダ記念日 一九八九	不正確である。 (発行年は一九八九年ではない。)	3-(1)	
19	275	中18-19	起承転結 漢詩(特に絶句)の句の並べ方。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「起承転結」は句の並べ方ではないため、理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

1 枚中 1 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

1 枚中 1 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-84		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	表見返④	上段左	◇山吹 古来、春の花として鶯や蛙と合わせて詠まれたり、恋の花として詠まれたりする。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (山吹と鶯を取り合わせた例や、恋の花として詠まれた例は多くはなく、山吹の一般的な詠まれ方について誤解する。)	3-(3)	
2	50	上段10行	作品の最後が「ンゴマ」(48・20)	誤りである。 (行の表示が誤りである。)	3-(1)	
3	51	1-4	a「百科事典少女」には、「ご都合主義」(41・19)「甘ったるい」(41・19)のような、文学や映画、絵画、音楽などの作品を批評する言葉が用いられている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「ご都合主義」「甘ったるい」が作品批評専用の言葉であるかのように誤解する。)	3-(3)	
4	121		文法の窓2(全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「曖昧な文・分かりづらい文」の学習と「性格診断」の関係が理解し難い。)	3-(3)	
5	134	囲み	古典コラム 和歌の修辞 掛詞は、一つの語に同音の二つの語の意味を重ね合わせるものです。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (掛詞には二つ以上の意味を与える例もある。)	3-(3)	
6	244	囲み20	〈案①〉少なくとも中心となるバッターとピッチャーはうまい人にやってもらって、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「中心となる」が「バッターとピッチャー」に係るとも、「バッター」だけに係るとも解され、係り受けが明確でない。)	3-(3)	
7	285	下段囲み	「早雲の軍配者」 富永倫太郎	誤りである。 (著者名が誤っている。)	3-(1)	
8	294	1	[発展] 古典の文法	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (学習指導要領に示していない内容である旨及び全ての生徒が必ず学習しなければならないものではない旨が明示されていない。)	2-(16)	
9	297	表1段目	(日本文学史年表) 一二三五 嘉禎元 小倉百人一首…藤原定家	生徒が誤解するおそれのある表示である。 (小倉百人一首の成立年時が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)	
10	297	表3段目	一九七一 46 輝ける闇…開高健	不正確である。 (刊行年時が不正確である。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 1 枚目

受理番号 26-40		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	巻頭⑬	上8	表現を向かう読み	誤記である。	3- (2)	
2	4	脚間③	「いつもだったら」とあるが「いつも」の岳の様子は、どこまで書かれているか捉えよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (「どこまで」が何を意味しているか理解し難い。)	3- (3)	
3	37	上12	ケンチンの違反を仲間に隠した。 (以下「ケンチン」すべて同じ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ケンチン」の行動ではない。)	3- (3)	
4	40	ふきだし	「目で殺す」にパワーが感じられるのは、どうしてだろう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「パワーが感じられる」が何を意味しているのか理解し難い。)	3- (3)	
5	46 - 47	囲み	(コメント例) 後ろの席で見えにくくて残念！(コメントマップ) 後ろの席なので見えにくかった。	生徒にとって理解し難い例示である。 (46ページ上3～4行「仲間のスピーチでよかったところを踏まえて、コメントを返しましょう。」に照らして例示として理解し難い。)	3- (3)	
6	50	脚間	問題 6 ……②肉+泉=□	生徒にとって理解し難い設問である。 (新出漢字を解答としている。)	3- (3)	
7	50	12	④国字 …… 搾	不正確である。 (国字ではない。)	3- (1)	
8	68	9	生態展示の今後の可能性についての	脱字である。	3- (2)	
9	88	写真	「Haruki Bunko」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2- (7)	
10	116	下10 ～11	②ー①ー1「バーチャル」「リアル」「イマジナリー」(p110・9～10)を別の言葉にしてみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (「イマジナリー」は、110ページ脚注で既に「想像の」と言い換えられており理解し難い。)	3- (3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 26-40		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	143	1 - 7	「性格描写」とは、作者が一人の登場人物を創り出すために用いる方法のことです。特に、作者が一人の登場人物をこしらえるための技法には、例えば次のようなものがあります。つまり、	生徒にとって理解し難い表現である。 (文脈上「特に」「つまり」は理解し難い。)	3-(3)
			①……などです。		
12	143	13 - 14	私たち読者は自分自身の理解を深めるのです。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「自分自身の理解」が何を意味するか理解し難い。)	3-(3)
13	147	下20 ~21	効果的なインタビューにするためには、石川さんはどのように言葉をつないでいけばよかったのでしょうか。	生徒にとって理解し難い指示である。 (「効果的なインタビュー」が何を意味するか理解し難い。)	3-(3)
14	167 - 168	上13 ~上2	③調べて書くための方法を学ぼう。①筆者の調査方法を思い出して、次の手順で、言葉について調べてみたいテーマを決め、調査をして文章にまとめよう。……2 調査結果を集め、分析する	生徒にとって理解し難い指示である。 (分析方法などが具体的に示されておらず理解し難い。)	3-(3)
			。 3 調査報告を文章にまとめる。		
15	179	脚注1 3	駿河(今の静岡県)の国	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (当時の駿河の国と現在の静岡県の関係について誤解する。)	3-(3)
16	191	脚問3 ~5	原文を音読し、漢文の内容と特有のリズムを味わう。 195ページ②「原文を音読し」、②①「原文を音読しよう」も同じ。	生徒にとって理解し難い指示である。 (「原文を音読し」が何を指すか理解し難い。)	3-(3)
17	198	2	『宇治拾遺物語』第百十四段 188ページ7行目「『宇治拾遺物語』第一〇四段」	表記が不統一である。	3-(4)
18	198	7 - 12	異なる時間の三人の姿が、絵巻を広げた幅の図面上に繰り返して描かれている……まるでアニメーションのようです。このような、本来は描けない「動き」を絵画に作り出す技法を「異時同図	生徒にとって理解し難い説明である。 (「絵巻を広げた幅の図面上」、「本来は描けない「動き」」)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 26-40		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
			法」と言います。			
19	198 - 199	13 - 5	絵巻の技法には、この外、広げていく順に時間や場面が進行していく「順勝手」（画面の中段から下段）や、突然に左（絵巻の奥）から飛び込んでくるような「逆勝手」（画面の上段中央の	生徒にとって理解し難い説明である。 （「順勝手」「逆勝手」「すやり霞」「シンボルとなる図像」の説明・例示が十分でなく理解し難い。）	3- (3)	
			親) があります。また、「すやり霞」は遠近感を与えたり、場面を区切る技法。……さらに、話題を描くだけでは画面に余白ができてしまうので、何事かのシンボルとなる図像や、物語とは			
			無縁な人々の姿やしぐさを描いたりもしています。			
20	199	13 - 16	①～③の部分や屋根の様子、松の有無などを『竹取物語』の文章と比べながら、絵師の技法、そしてそこに込められたメッセージを読み取ってみましょう。	生徒にとって理解し難い指示である。 （「そこに込められたメッセージ」が何を意味するか理解し難い。）	3- (3)	
21	205		①大見出し 最も伝えたいことを短く印象的に表現する。 ②中見出し 最も重要な内容を簡潔に伝える。 ③小見出し 次に重要なことを記事の	生徒にとって理解し難い説明である。 （基準が判然としない。）	3- (3)	
			5 W 1 H の 2 ～ 3 要素を取り入れて作る。 ⑤小見出し ③の次に重要なこと。			
22	209	上1～ 下4	問題4 上下の○には部首が同じ漢字が入ります。漢字を書きましょう。 ……⑥服役する一流行に○れる	生徒にとって理解し難い設問である。 （新出音訓を解答としている。）	3- (3)	
23	211	上4～ 5	助詞の「を」は、実際の発音と違う表記になります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （助詞「を」が実際の発音と異なるかのように誤解する。）	3- (3)	
24	212	上10	それは分かりやすく読み替えているだけであり	生徒にとって理解し難い表現である。 （「分かりやすく読み替えている」とはどういうことか理解し難い。）	3- (3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 26-40		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
25	212	下14 ～15	中国北方の（唐の首都）の漢字の発音が	脱字である。	3- (2)
26	250	12 - 17	しかし②で「僕」に視線が向けられると、文章は自分の成長の歴史をどんどん掘り下げていけるようになります。深める力を得たのです。……「僕」は、視線を切り替えることによって自分	生徒にとって理解し難い説明である。 （例文を当該記述のように理解することが困難である。）	3- (3)
			の成長についてきちんとした認識を得ることができたのです。		
27	258	表	どれ 話し手にしか分からない	不正確である。 （話し手にしか分からない場合だけではない。）	3- (1)
28	274	脚注3	セントラル・パーク ニューヨークの中央、マンハッタンにある南北四キロの大公園。	誤記である。 （初出の位置ではない。）	3- (2)
29	284	表	文 段落を分けた一区切り。	生徒にとって理解し難い説明である。 （「段落を分けた一区切り」が何を意味するか理解し難い。）	3- (3)
30	287	表	（下段）用言を修飾する-副詞	生徒が誤解するおそれのある説明である。 （副詞が用言のみを修飾するかのように誤解する。）	3- (3)
31	288	表	代名詞の種類（人称代名詞・不定称）話し手にとってはっきりしない人を指し示す。（指示代名詞・不定称）話し手にとってはっきりしない物事を指し示す。	不正確である。 （話し手にとってはっきりしない場合だけではない。）	3- (1)
32	289	表	副詞の種類 程度の副詞 はっきり見えた。	生徒が誤解するおそれのある用例である。 （「はっきり」が程度の副詞としか解釈できないと誤解する。）	3- (3)
33	292	下7～ 8	感情的な意味の違いを説明しよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「感情的な意味」）	3- (3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 26-40		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
34	299	上9	ひとりのみながむるよりはをみなへし わが住む里に植えてみましを	不正確である。 (「わが住む里に」)	3-(1)
35	299	下2	口語の仮定形が已然形になり	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (仮定形が已然形に変化したかのように誤解する。)	3-(3)
36	300	下12	古今集、序	不正確である。 (「序」)	3-(1)
37	300	下14	宇治拾遺 301ページ下1行「宇治拾遺」も同。	不正確である。 (「宇治拾遺」)	3-(1)
38	325	年表	七一三 風土記 (同年表の「竹取物語」「伊勢物語」 「土佐日記」「大鏡」も同)	生徒が誤解するおそれのある年表である。 (成立年が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)
39	325	年表	今昔物語	不正確である。 (「今昔物語」)	3-(1)
40	巻末 (4)		(「だ・です」の接続) 「体言+の」	不正確である。 (「体言+の」には接続しない。)	3-(1)
41	巻末 (5)		(「う」の接続) 「未然(五段)」	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (五段活用動詞にだけ接続するかのように誤解する。)	3-(3)
42	巻末 (5)		(「らしい」の接続) 「終止」	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (終止形にのみ接続するかのように誤解する。)	3-(3)
43	巻末 (6)		(「ようだ・ようです」の接続) 「体言」	不正確である。 (体言には接続しない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 1 枚目

受理番号 26-62		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	巻頭⑫	下17 ～18	より確かで、より自由な、言葉の使い手になることができるようにすること -それが、二年生の言葉の学習です。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「なることができるようにすること」）	3- (3)	
2	巻頭⑬	上10	「表現を向かう読み」	誤記である。	3- (2)	
3	24	上13	①プレゼンテーションについて考える	生徒にとって理解し難い見出しである。 （25ページ1～6行の説明との関連が理解し難い。）	3- (3)	
4	28	写真	（蓋の右下のマーク）	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2- (7)	
5	29	囲み右下	（締めくくりの言葉）季節を感じ、思いやりの心を伝える和菓子。	生徒にとって理解し難い表現である。 （文の係り受けが理解し難い。）	3- (3)	
6	31	15 - 16	多くの場合、音の違いは読み方の違いであって、漢字の意味は同じです。しかし、中には音によって意味が違うものもあります。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「音の違いは読み方の違い」が何を意味するか理解し難い。）	3- (3)	
7	68	写真	講談社文庫	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2- (7)	
8	69 - 70	下11 ～上2	①後半の釣りの部分からは、「やり方」という言葉が繰り返し出てくる。その表現を抜き出してみよう。 ②①は、表現上どのような効果を挙げているか、話し合ってみよう。	生徒にとって理解し難い指示である。 （「その表現」「効果」が何を指すか理解し難い。）	3- (3)	
9	75 - 76	1～9	今までの活動を通して感じたことをもとに、短い物語を書き、友達と読み合いましょう。三つのうち、いちばん想像力が広がったと感じるパターンを選びます。	生徒にとって理解し難い指示である。 （②「絵の組み合わせを考える」という見出しとの関連が理解し難い。）	3- (3)	
10	154	囲み	全体	生徒にとって理解し難い。 （議題が示されていない。）	3- (3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 26-62		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	160	1	大切です	脱字である。 (文末に句点がない。)	3-(2)
12	162	7	熟字訓をする語があったり	生徒にとって理解し難い表現である。 (「熟字訓をする」)	3-(3)
13	197	1 - 2	2「序段」では、表現は心にどのような影響を与えと考えられているか、話し合おう。	生徒にとって理解し難い指示である。 (「表現」が何を指しているか理解し難い。)	3-(3)
14	198	脚間1 ～4	さまざまに補いながら、思索の内容と様子を生き生きと捉える。 (201ページ3～4行①「さまざまに補いながら…」も同)	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を「さまざまに補いながら」行うのか理解し難い。)	3-(3)
15	201	下2～ 3	②音読して漢文の訓読に親しみ、助字の働きを知ろう。	生徒にとって理解し難い指示である。 (「助字」の説明がない。)	3-(3)
16	216	上6～ 7	右の「待て」は命令文ですから、主語が言われないのは当然ですが、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「主語が言われない」)	3-(3)
17	217	下3	「敬語の指針」では「参る」「申す」を「謙譲語」としています。	不正確である。 (「謙譲語」ではない。)	3-(1)
18	247	吹き出し	過去の「物語」を忘れずにいることが、人生や人間関係を豊かにしている様子が、やりとりの中から捉えられたかな。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文の係り受けが理解し難い。)	3-(3)
19	249	5	③岬の灯台。〈参考〉形声文字だが、訓読みのみ	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (音読みがないかのように誤解する。)	3-(3)
20	250	8	⑦…誘拐。〈参考〉「拐」に似た字はない	生徒にとって理解し難い説明である。 (「似た字はない」)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 26-62		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
21	275	左上	『しろばんば』……児童版も出ているので試してみたら。	脱字である。	3-(2)
22	282	10	最も形容動詞らしい形容動詞の「静かだ」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「最も形容動詞らしい形容動詞」)	3-(3)
23	283	11 - 12	「臆病だ」は形容動詞だが、完全な形容動詞にはなっていない	生徒にとって理解し難い表現である。 (「完全な」が何を意味するか理解し難い。)	3-(3)
24	284	表	4連体形接続 だ・です	不正確である。 (連体形以外にも接続する。)	3-(1)
25	284	6	死に(ナ変・連用形)	誤りである。 (ナ行変格活用ではない。)	3-(1)
26	287	8	作ら(サ五・未然形)	誤りである。 (サ行五段活用ではない。)	3-(1)
27	288	表	(「だ」の接続) 体言、体言+の、連体形	不正確である。 (「体言+の」には接続しない。)	3-(1)
28	289	表	(「です」の接続) 体言、体言+の、連体形	不正確である。 (「体言+の」には接続しない。)	3-(1)
29	295	下4～9	問2……ア～エの格助詞「と」は、上の段のどれに当たりますか。 結果() 引用() 並列()	生徒にとって理解し難い設問である。 (上段表「用例」に照らしていずれかに特定し難い。)	3-(3)
30	295	下10～14	問3……①～④の格助詞「に」は、上の段のどれに当たりますか。	生徒にとって理解し難い設問である。 (上段表の「意味用法」に該当しないものがある。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 26-62	学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 2
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
31	296 - 297	下段注 1	僕には難しい問題が解ける。……連用修飾語「僕には」は、「難しい問題が」を越えて「解ける」にかかります。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「僕には」が「解ける」にしか係らないかのように誤解する。)	3-(3)
32	297	12 - 13	(でも) ①類推 同じびくびくするのでも、全く種が違うのだ。 ②例示 なんとかなる競技でも、途中で休んで落伍してしまう。	生徒にとって理解し難い用例である。 (類推・例示の用例として適当ではない。)	3-(3)
33	297	23	(くらい) ②例示 呼吸もせぬくらいの深い眠り	生徒にとって理解し難い用例である。 (例示の用例として適当ではない。)	3-(3)
34	297	24	(など) 例示 世話してくれる者などいるはずがない。	生徒にとって理解し難い用例である。 (例示の用例として適当ではない。)	3-(3)
35	297	下22 ~24	格助詞「が」に置き換えられる副助詞「は」を、「題目」の「は」と名付けています。	不正確である。 (「が」にのみ置き換えられるのではない。)	3-(1)
36	303	上15 ~下6	①意味がほとんど重なるもの……②一方が他方を含み込むもの……③多くの部分が重なり合うもの……④意味する事柄が互いに近いもの……①「古い感じがあるかどうか」……②「新しい感	生徒にとって理解し難い分類である。 (区別が判然としない。)	3-(3)
			じがあるかどうか」		
37	303	下17 ~19	(問題3) 次の語は、意味の上で、どういう点が違っているか、考えてみよう。 ……B 色紙一短冊	生徒にとって理解し難い設問である。 (「色紙一短冊」は比較する例として適当ではない。)	3-(3)
38	306	上9	ひとりのみながむるよりはをみなへしわが住む里に植えてみましを	不正確である。 (「わが住む里に」)	3-(1)
39	306	下2	口語の仮定形が已然形になり	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (仮定形が已然形に変化したかのように誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 26-62		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
40	307	下12	古今集、序	不正確である。 （「序」）	3- (1)
41	307	下14	宇治拾遺 308ページ下1行「宇治拾遺」も同。	不正確である。 （「宇治拾遺」）	3- (1)
42	332	年表	七一三 風土記 （同年表の「竹取物語」「伊勢物語」 「土佐日記」「大鏡」も同）	生徒が誤解するおそれのある年表である。 （成立年が確定しているかのように誤解する。）	3- (3)
43	332	年表	今昔物語	不正確である。 （「今昔物語」）	3- (1)
44	巻末（4）		（「だ・です」の接続）「体言＋の」	不正確である。 （「体言＋の」には接続しない。）	3- (1)
45	巻末（5）		（「う」の接続）「未然（五段）」	生徒が誤解するおそれのある説明である。 （五段活用動詞にだけ接続するかのように誤解する。）	3- (3)
46	巻末（5）		（「らしい」の接続）「終止」	生徒が誤解するおそれのある説明である。 （終止形にのみ接続するかのように誤解する。）	3- (3)
47	巻末（6）		（「ようだ・ようです」の接続）「体言」	不正確である。 （体言には接続しない。）	3- (1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 1 枚目

受理番号 26-102		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	巻頭⑬	上10	「表現を向かう読み」	誤記である。	3-(2)	
2	14	下4～5	①筆者が受けたインタビューを類別して表にまとめて整理しよう。	生徒にとって理解し難い指示である。 (当該教材におけるインタビューを類別することはできず理解し難い。)	3-(3)	
3	23	下11～14	この作品の次の部分などを書き換えてみよう。 ・ちょうどその時、……最後)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「など」)	3-(3)	
4	28	上14～6	意見文は、あなたが自分の意見を一人で書いてまとめるものです。しかし、その意見が聞き手に伝わりやすくするためには、一人で書いている時とは違う頭の使い方をしていかななくてはなら	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (意見文では相手に伝わりやすく工夫する必要がないかのように誤解する。)	3-(3)	
			ないのです。			
5	30	上13～14	寺田さん一人だけの意見だという感じがして、よそよそしい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「よそよそしい」)	3-(3)	
6	31	上5～8	その「普通」は私にとって普通ではありません。身近な人でさえ違うのですから、地域や国によっては文化や風習など大きく違うのでしょうか。	生徒にとって理解し難い文章である。 (「ですから」の前後文脈の繋がりが理解し難い。)	3-(3)	
7	31	下8～11	「普通の人」や「普通においしい。」など、……「普通」の人や「普通」の料理	生徒にとって理解し難い表現である。 (「「普通」の料理」)	3-(3)	
8	33	3	歴史的と言われる名演説です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「と言われる」)	3-(3)	
9	87	下11～12	そのようにして作品を眺める「私」の「まなざし」が生まれます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「「私」の「まなざし」が何を指すのか理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 26-102		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
10	142	全体	「①拍」の全体	生徒にとって理解し難い説明である。 (拍と音節の関係について理解し難い。)	3- (3)
11	166	下8～10	③掛詞 一つの言葉に二つの意味を持たせる技法で、歌の内容を複雑にする	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (二つ以上の意味を持たせないかのように誤解する。)	3- (3)
12	171	下10～11・表	共通点以外で新たに加わっていることを書き出してみよう。(表)	生徒にとって理解し難い指示である。 (「新たに加わっていること」が何を指すか理解し難い。)	3- (3)
13	191	下9	かつて過ごした長安へ思い	脱字である。	3- (2)
14	192	上9	心を耕し(同ページ上14「心を耕すのは耕された心」、上17「先人の耕された心」、上18～19「心を耕し」、下3「心を耕し」も同)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「心を耕す」が何を表現しているのか理解し難い。)	3- (3)
15	192	下11～13	当時、手紙は通りすがりの人に頼んで届けてもらっていましたが、それを心待ちにする気持ちが描かれています。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (手紙を心待ちにする気持ちしか描かれていないかのように誤解する。)	3- (3)
16	193	上3～4	道行人の言伝もない	不正確である。 (「の」)	3- (1)
17	193	上11～16	本歌取りは言葉の一部を引用して本歌を指示し、引用しなかった部分を自分の歌に響かせる技法。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (本歌取りが本歌を指示するだけかのように誤解する。)	3- (3)
18	193	上17～下2	定家は、携帯を手に雨空を眺めている人の、「恋ひ死なば恋ひも死ねとや」といった、友人を責める気持ちをも響かせている	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (定家の歌に、携帯を手に友人を責める気持ちが含まれているかのように誤解する。)	3- (3)
19	193	下5～下7	人麻呂は恋人からの「言伝」を待つ人の心を深く理解し、定家は人麻呂歌によって「五月雨」の頃の心を人恋しさとして発見したのです。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (定家が人麻呂の歌によって人恋しさを発見したかのように誤解する。)	3- (3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 26-102		学校 中学校		教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
20	203	3～7	片仮名は漢語つまり外来語との結びつきが強いので、現在でも、外来語や音、擬声語に使われます。	生徒にとって理解し難い説明である。 （「ので」の前後の関係が明確でなく理解し難い。）	3- (3)	
21	250	下1～ 2	「世界」の復興は、どこにどのように捉えられているか。	生徒にとって理解し難い指示である。 （「どこにどのように」が何を指すか理解し難い。）	3- (3)	
22	255	下3～ 8	文吉にとって、「山端とろろ」の面にふさわしい顔が「これ」なのです。…これらは「これ」ではありません。赤ん坊を連れてきたぬすつの顔こそが「これ」なのでした。	生徒にとって理解し難い説明である。 （「これ」と「それ」の違いについて上段12～13行「どうして、「それや、その顔や」と言っていないのでしょうか」に対する明確な解答になっていない。）	3- (3)	
23	276 - 277	脚問	次の文章の段落①～③の関係の仕方を答えなさい。…… ①と②（ ） ……①と②③	生徒にとって理解し難い設問である。 （上段表「関係の仕方」に照らしていずれかに該当し難い。）	3- (3)	
24	280	上12 ～18	問 1 次のA・Bの違いを確かめましょう。 A そら、ね。ごらん。 B そら、ね。ごらん。 問 2 「明日は、いらっしゃいますか。」という問いかけに答える次のA・Bの違いを確かめま	生徒にとって理解し難い設問である。 （「違い」が何を指すか理解し難い。）	3- (3)	
			しょう。 A はい、参ります。 B はい。参ります。			
25	282 - 283	下19 ～上1	D 花の散るのを惜しむ。 ……Dのように「花の」とするのは珍しいことではありませんでした。	生徒にとって理解し難い説明である。 （「珍しいことではありませんでした」が何を意味するか理解し難い。）	3- (3)	
26	283 - 284	下19 ～上10	②ひと夏を過ぎると、少年はまた一つ変わっていくのだ。……「変わっていくのだ」は……「変わっていく」に「の」が付いて「変わっていくこと」「変わっていくもの」の意味に当たる名	不正確である。 （当該例における「変わっていくの」は「変わっていくこと」「変わっていくもの」の意味に当たる名詞（体言）とはいえない。）	3- (1)	
			詞（体言）になっています。			
27	289	下10 ～12	尊敬語……①「お～なる」「ご～なる」	不正確である。 （尊敬語は「お～なる」「ご～なる」ではない。）	3- (1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 26-102		学校 中学校	教科 国語	種目 国語	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
28	289	下20 ～22	□丁寧語……①接頭語「お」「ご」を添える。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (接頭語「お」「ご」を添えると必ず丁寧語になるかのように誤解する。)	3-(3)
29	292	上10 ～15	複合語の構成は意味とも関わり、例えば次のような形で説明できる。 雨降り(雨が降ること)……里帰り(里に帰ること)(～に ～すること)	生徒にとって理解し難い説明である。 (「複合語の構成は意味とも関わり」が何を意味しているのか理解し難い。)	3-(3)
30	294	上9～ 10	ひとりのみながむるよりはをみなへし わが住む里に植ゑてみましを	不正確である。 (「わが住む里に」)	3-(1)
31	294	下3	口語の仮定形が已然形になり	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (仮定形が已然形に変化したかのように誤解する。)	3-(3)
32	295	下13	古今集、序	不正確である。 (「序」)	3-(1)
33	295	下15	宇治拾遺 296ページ下1行「宇治拾遺」も同	不正確である。 (「宇治拾遺」)	3-(1)
34	320	年表	七一三 風土記 (同年表の「竹取物語」「伊勢物語」 「土佐日記」「大鏡」も同)	生徒が誤解するおそれのある年表である。 (成立年が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)
35	320	年表	今昔物語	不正確である。 (「今昔物語」)	3-(1)
36	巻末4		(「だ・です」の接続)「体言+の」	不正確である。 (「体言+の」には接続しない。)	3-(1)
37	巻末4		(「う」の接続)「未然(五段)」	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (五段活用動詞にだけ接続するかのように誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

5 枚中 5 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。